

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

| | | | | | |
|--|----|-------------|------------------|--------|--------------|
| N0. | 62 | 事業名 | 浦浜地区漁業集落防災機能強化事業 | 事業番号 | C-5-1 |
| 交付団体 | | 県 | 事業実施主体 (直接/間接) | 市 (間接) | |
| 総交付対象事業費 | | 30,000 (千円) | 全体事業費 | | 540,000 (千円) |
| 事業概要 | | | | | |
| <p>東日本大震災による津波被害を受けた越喜来漁港背後集落の浦浜地区において、既往最大津波に対する浸水被害軽減のため、土地利用高度化再編整備により地盤の嵩上げを行い (TP 12.3m)、集落の防災機能の強化を図り、住宅被災者の居住の安定を確保するものである。</p> <p>これに合わせ漁業集落道、上水道を整備し、住民の早期住宅再建を図るための安全性と快適な生活環境を確保する。</p> | | | | | |
| 当面の事業概要 | | | | | |
| <p><平成 24 年度></p> <p>測量設計 : 1 式 (30,000 千円)</p> <p><平成 25 年度></p> <p>漁業集落道整備 L=0.9km (90,000 千円)、水産飲雑用水施設整備 L=0.9km (30,000 千円)</p> <p>土地利用高度化再編整理 A=5.2ha (390,000 千円)</p> | | | | | |
| 東日本大震災の被害との関係 | | | | | |
| <p>浦浜地区は、東日本大震災により、浸水 12m の津波に襲われ、140 戸の住宅が全半壊する被害を受けた。また、被災地域が地区の拠点地域でもあったため、生活利便、市民サービス、地域コミュニティ施設が壊滅的な被害を受けた。このため、当該集落の今後のまちづくりにおいては、土地の嵩上げを行い、安全を確保し、被災者の住宅、生活利便、市民サービス、地域コミュニティ施設の再建を図り、漁業集落の復興を図る事業である。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p> | | | | | |
| 関連する災害復旧事業の概要 | | | | | |
| <p>県による防潮堤及び浦浜川護岸等の災害復旧事業時期、復興交付金事業による県道崎浜港線及び主要地方道大船渡綾里三陸線の道路事業時期と調整を図り、復興交付金事業による事業実施を行う。</p> | | | | | |

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

| | |
|-----------|--|
| 関連する基幹事業 | |
| 事業番号 | |
| 事業名 | |
| 交付団体 | |
| 基幹事業との関連性 | |
| | |

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

| | | | | | |
|---|----|------------|-----------------------|------------|-------|
| N0. | 78 | 事業名 | 越喜来地区認定こども園整備事業（幼稚園分） | 事業番号 | A-3-1 |
| 交付団体 | | 県 | 事業実施主体（直接/間接） | 市（間接） | |
| 総交付対象事業費 | | 12,464（千円） | 全体事業費 | 12,464（千円） | |
| 事業概要 | | | | | |
| <p>津波により被災した越喜来保育所の移転新築復旧と併せて認定こども園化することに伴い幼稚園分を整備する。</p> <p>なお、越喜来小学校と隣接した場所へ整備する予定である。</p> <p>また、現時点では、災害査定が未了であり、災害復旧分の金額が確定していないため、暫定的に事業費を面積按分により交付対象事業費として計上している（災害査定額確定後に変更申請予定）。</p> <p>【復興計画における位置づけ】</p> <p>第 2 章復興における課題、目標及び方針・施策 1 市民生活の復興</p> <ul style="list-style-type: none">被災した教育施設の再建などにより、教育機会の確保を図ります。 <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p> | | | | | |
| 当面の事業概要 | | | | | |
| <p><平成 24 年度></p> <p>建物の基本設計及び実施設計業務を委託する。</p> <p>用地所得を実施する。</p> <p><平成 25 年度></p> <p>造成工事を実施する。</p> | | | | | |
| 東日本大震災の被害との関係 | | | | | |
| <p>越喜来保育所は、津波により全壊となるなど甚大な被害を受け、高台などの安全な場所への移転復旧が必要となった。</p> <p>【越喜来地区の被害状況】 死者・行方不明者96名 被災家屋等321件（H23.5.27時点）</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p> | | | | | |
| 関連する災害復旧事業の概要 | | | | | |
| <p>社会福祉施設等設災害復旧事業において、次のとおり復旧を進める。</p> <p>平成 24 年度～平成 27 年度に園舎等の建設等を行う。</p> | | | | | |

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

| | |
|-----------|--|
| 関連する基幹事業 | |
| 事業番号 | |
| 事業名 | |
| 交付団体 | |
| 基幹事業との関連性 | |
| | |

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

| | | | | | |
|---|----|-----------|----------------|-------|------------|
| NO. | 25 | 事業名 | 遺跡調査事業（震災復興支援） | 事業番号 | A-4-2 |
| 交付団体 | | 県 | 事業実施主体（直接/間接） | 県（直接） | |
| 総交付対象事業費 | | 8,520（千円） | 全体事業費 | | 61,069（千円） |
| 事業概要 | | | | | |
| 復興交付金基幹事業に伴う開発事業に係る分布調査、試掘調査を実施する。 | | | | | |
| ①道路事業（市街地相互の接続道路等） | | | | | |
| ②農政関係事業（農地区画整理事業、中山間地域総合整備事業等） | | | | | |
| ③公営復興住宅 | | | | | |
| ※ 本来市町村が実施することとされている試掘・本調査についても、事業量の増大により市町村のみでは対応が困難であることから、調査と復興のスピードが停滞することがないように県が支援を行うものである。 | | | | | |
| 【岩手県東日本大震災復興計画 復興実施計画 p.30】 | | | | | |
| ・ 県内遺跡調査事業 | | | | | |
| 震災・津波からの早期の復興を図るための開発事業に係る埋蔵文化財調査を先行的に実施 | | | | | |
| 当面の事業概要 | | | | | |
| <平成 24 年度> | | | | | |
| 埋蔵文化財に係る分布調査、試掘調査及び本発掘調査 | | | | | |
| 東日本大震災の被害との関係 | | | | | |
| 東日本大震災及び津波によって被災した市町村をつなぐ道路、まちづくりなどインフラ整備等に先立ち実施するもの。 | | | | | |
| 関連する災害復旧事業の概要 | | | | | |
| ・ 区画整理事業 | | | | | |
| ・ 災害公営住宅建設事業 | | | | | |
| ・ 道路事業 | | | | | |
| ・ 下水道事業 | | | | | |
| ・ 集団移転事業 | | | | | |
| ・ 農業基盤整備事業 | | | | | |
| ・ 公立学校等新增築事業 | | | | | |
| ・ 市街地再開発事業 | | | | | |
| ・ 保育園等新增築事業 | | | | | |
| ・ 病院等建設事業 | | | | | |
| など、土地の改変を伴う事業が対象 | | | | | |
| ※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。 | | | | | |
| 関連する基幹事業 | | | | | |
| 事業番号 | | | | | |
| 事業名 | | | | | |
| 交付団体 | | | | | |
| 基幹事業との関連性 | | | | | |
| | | | | | |

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

| | | | | | | |
|---|----------------|----------|----------------|--|----------|----------|
| N0. | 79 | 事業名 | 埋蔵文化財発掘調査迅速化事業 | | 事業番号 | ◆A-4-2-1 |
| 交付団体 | | 県 | 事業実施主体 (直接/間接) | | 県 (直接) | |
| 総交付対象事業費 | | 156 (千円) | 全体事業費 | | 156 (千円) | |
| 事業概要 | | | | | | |
| ○事業の目的・内容 | | | | | | |
| <p>本県における復興まちづくりは、周知の埋蔵文化財包蔵地内で実施される場合も多く、埋蔵文化財を速やかに、かつ正確に把握し事業計画地から除外することや、影響を与えない工法を採用することが迅速な事業実施につながる。また、やむを得ず発掘調査を実施する場合にも速やかな調査の終了が求められる。</p> <p>そこで、発掘調査の諸工程の中で、最も専門的な技術を有し、かつ時間を要する記録作成作業に、最新のデジタル技術を導入して作業時間の短縮をはかること（基幹事業にて実施）と併せて、発掘調査担当者が、デジタル機器を利用できるように、操作技術等の講習会を行う。</p> | | | | | | |
| ○県が実施する理由 | | | | | | |
| <p>大船渡市における復興交付金に伴う発掘調査は、今後、短期間で集中的に実施されることになるが、大船渡市の埋蔵文化財専門職員は 2 名であり、すべての発掘調査を市のみで実施することは不可能であるため、県が市の委託を受けて実施することとなっている。よって、実際の発掘調査の実施主体となる県が事業計画を立案するものである。</p> | | | | | | |
| 当面の事業概要 | | | | | | |
| <平成 24 年度> 機器・システムの導入のための講習。人材育成。 | | | | | | |
| 東日本大震災の被害との関係 | | | | | | |
| 復興事業の迅速な実現。 | | | | | | |
| 関連する災害復旧事業の概要 | | | | | | |
| ・埋蔵文化財発掘調査 | | | | | | |
| ※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。 | | | | | | |
| 関連する基幹事業 | | | | | | |
| 事業番号 | A-4-2 | | | | | |
| 事業名 | 遺跡調査事業（震災復興支援） | | | | | |
| 交付団体 | 岩手県 | | | | | |
| 基幹事業との関連性 | | | | | | |
| 基幹事業の迅速化。 | | | | | | |

(様式 1-3)

大船渡市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 8 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

| | | | | | |
|---|------------|-----|----------------|------------|----------|
| NO. | 80 | 事業名 | 住宅再建相談会 | 事業番号 | ◆D-4-4-3 |
| 交付団体 | 県 | | 事業実施主体 (直接/間接) | 県 (直接) | |
| 総交付対象事業費 | 1,500 (千円) | | 全体事業費 | 6,000 (千円) | |
| 事業概要 | | | | | |
| <p>東日本大震災津波により甚大な被害を受けた大船渡市沿岸部において、住宅を失った被災者の居住の安定を図るため、災害復興公営住宅及び民間住宅等の恒久的な住宅の供給を推進する必要がある。</p> <p>当該事業は、被災者向けの住宅再建に向けた相談会を実施することにより、災害復興公営住宅の必要戸数を把握する他、被災者の自力住宅再建を促し、重層的な住宅セーフティネットを構築するものである。</p> | | | | | |
| ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください | | | | | |
| 当面の事業概要 | | | | | |
| <平成 24~27 年度> | | | | | |
| ・ 相談会の実施 | | | | | |
| 東日本大震災の被害との関係 | | | | | |
| ・ 東日本大震災津波により住宅を失った被災者の居住の安定を図るため、住宅再建相談会を実施することにより、被災者の住宅再建を図る。 | | | | | |
| ※区域の被害状況も記載して下さい。 | | | | | |
| 関連する災害復旧事業の概要 | | | | | |
| | | | | | |

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

| | |
|---|--------------|
| 関連する基幹事業 | |
| 事業番号 | D-4-4 |
| 事業名 | 災害復興公営住宅整備事業 |
| 交付団体 | 県 |
| 基幹事業との関連性 | |
| <p>災害復興公営住宅整備事業と一体となって事業を実施することにより、災害復興公営住宅の必要戸数を把握する他、被災者の自力住宅再建を促し、重層的な住宅セーフティネットを構築するもの。</p> | |